

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 システム・ロケーション株式会社
 コード番号 2480 URL <http://www.slc.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 JQ

(氏名) 千村 岳彦
 (氏名) 橋本 祐紀典

TEL 03-3234-1058

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	297	△13.8	43	△49.5	57	△33.9	32	△33.6
21年3月期第1四半期	345	—	85	—	87	—	49	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	9.28	—
21年3月期第1四半期	13.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	2,041	1,407	69.0	396.74
21年3月期	2,088	1,416	67.8	398.23

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,407百万円 21年3月期 1,416百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	15.00	15.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	532	△17.4	29	△77.0	28	△73.3	8	△84.6	2.48
連結累計期間	1,019	△16.2	32	△82.2	26	△84.5	7	△91.6	2.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第1四半期	3,570,000株	21年3月期	3,570,000株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	21,366株	21年3月期	12,466株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第1四半期	3,552,864株	21年3月期第1四半期	3,558,932株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(当期の経営成績)

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の急激な景気後退とそれに伴う企業業績の悪化、個人消費の低下、雇用不安等の経済悪化要因を引きずりつつも、当四半期終盤においては若干の景気底打ち感を示す統計数値等により、一時の大混乱期からはやや落ち着きを取り戻したように感じられます。しかしながら、企業業績は昨年対比では引き続き大幅なマイナス成長を余儀なくされており、今後も厳しい経営環境に対する慎重な舵取りが求められる状況にあります。

当社グループの主要顧客層であるオートリース会社を中心とした自動車関連ファイナンス業界では、こうした景気後退の影響に起因するオートリース会社の顧客のリース車両の使用期間の長期化や、リースアップ車両の主要輸出先の輸入規制等による輸出需要の減少等にさらされており、引き続き入札会への出品台数の減少を余儀なくされております。

このような中、当社グループの当第1四半期連結会計期間の業績は、入札会出品台数では前年同期19,008台に対し、今期15,189台となり、前年同期比20.1%の減となりました。出品台数の減に加え、大手顧客からの値下げ要請への対応による影響で、再販業務支援売上は前年同期比26.0%減の216,349千円となりました。

一方、システム業務支援売上は既存商品の拡販による定期的なシステムレンタル収入増に加え、新規システムサービスからの定期収入も売上に寄与し始め、新規開発案件も合わせ、前年同期比54.0%増の81,355千円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は297,704千円で前年同期比13.8%減の減収となりました。販売費及び一般管理費は、全社的なコスト削減活動による削減が図れ、前年同期比1.8%減の117,170千円となり、営業利益は前年同期比49.5%減の43,171千円となりました。経常利益では、社員の生命保険の見直しによる保険解約益があり前年同期比33.9%減の57,914千円となりました。これに特別損益及び法人税等を加減した四半期純利益は前年同期比33.6%減の32,978千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より46,827千円減少し、2,041,309千円となりました。その主な要因としましては、現金及び預金の減少額44,567千円、仕入債務の減少額63,763千円によるものであります。

なお、純資産は1,407,871千円となり、自己資本比率は69.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,064,688千円となり、前連結会計年度末と比較して44,531千円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は4,126千円の収入（前年同期は204,956千円の支出）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益61,516千円、減価償却費の計上20,220千円であり、主なマイナス要因は、仕入債務の減少額63,763千円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は2,153千円の収入（前年同期は145,712千円の支出）となりました。主なプラス要因は、投資事業組合からの分配金による収入42,040千円であり、主なマイナス要因は、保険積立金の積立による支出41,548千円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は50,794千円の支出（前年同期比51.2%減）となりました。主な要因は、配当金の支払額47,961千円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期業績は、上述の通り前年同期に比べ厳しい状況ではありますが、当連結会計年度の当初予想に対しましては順調に推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期におきまして、平成21年5月8日付「平成21年3月期決算短信」に記載致しました、当期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表致します。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	939,630	984,197
売掛金	70,427	62,305
営業未収入金	75,709	76,569
有価証券	125,057	125,022
商品及び製品	1,247	3,133
仕掛品	—	2,541
原材料及び貯蔵品	435	429
その他	57,326	53,179
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	1,269,827	1,307,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	177,954	175,154
減価償却累計額	△48,975	△44,391
建物及び構築物（純額）	128,978	130,762
車両運搬具	8,817	8,817
減価償却累計額	△5,254	△4,945
車両運搬具（純額）	3,562	3,871
工具、器具及び備品	91,527	89,638
減価償却累計額	△56,949	△53,972
工具、器具及び備品（純額）	34,577	35,666
リース資産	5,345	5,345
減価償却累計額	△1,330	△1,023
リース資産（純額）	4,014	4,321
有形固定資産合計	171,133	174,621
無形固定資産	147,279	150,693
投資その他の資産		
投資有価証券	165,759	185,880
その他	311,775	294,035
貸倒引当金	△24,466	△24,466
投資その他の資産合計	453,068	455,449
固定資産合計	771,481	780,765
資産合計	2,041,309	2,088,137

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,360	32,299
営業未払金	394,768	444,593
未払法人税等	30,085	6,719
賞与引当金	8,937	14,655
その他	61,432	56,209
流動負債合計	513,584	554,477
固定負債		
退職給付引当金	13,906	12,762
役員退職慰労引当金	103,038	100,929
負ののれん	32	64
その他	2,874	3,201
固定負債合計	119,852	116,958
負債合計	633,437	671,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	191,445	191,445
資本剰余金	191,230	191,230
利益剰余金	1,013,263	1,033,647
自己株式	△11,204	△8,690
株主資本合計	1,384,734	1,407,632
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,060	32,815
為替換算調整勘定	△24,923	△23,747
評価・換算差額等合計	23,137	9,068
純資産合計	1,407,871	1,416,700
負債純資産合計	2,041,309	2,088,137

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	345,389	297,704
売上原価	140,581	137,362
売上総利益	204,808	160,342
販売費及び一般管理費	119,372	117,170
営業利益	85,435	43,171
営業外収益		
受取利息	674	44
受取配当金	2,240	1,764
負ののれん償却額	32	32
保険解約益	—	14,299
受取事務手数料	1,186	1,179
その他	497	621
営業外収益合計	4,630	17,941
営業外費用		
支払利息	—	25
保険解約損	—	369
持分法による投資損失	2,383	2,609
その他	35	194
営業外費用合計	2,418	3,198
経常利益	87,647	57,914
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	4,067
特別利益合計	—	4,067
特別損失		
固定資産除却損	—	42
災害による損失	—	423
特別損失合計	—	466
税金等調整前四半期純利益	87,647	61,516
法人税、住民税及び事業税	31,358	28,249
法人税等調整額	6,620	287
法人税等合計	37,978	28,537
四半期純利益	49,668	32,978

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	87,647	61,516
減価償却費	16,575	20,220
引当金の増減額 (△は減少)	△2,504	△2,463
受取利息及び受取配当金	△2,914	△1,809
支払利息	—	25
持分法による投資損益 (△は益)	2,383	2,609
保険解約損益 (△は益)	—	△13,930
固定資産除却損	—	42
売上債権の増減額 (△は増加)	18,942	△7,262
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,507	1,120
仕入債務の増減額 (△は減少)	△222,274	△63,763
前受金の増減額 (△は減少)	△3,907	△4,600
その他	△5,909	14,287
小計	△115,467	5,992
利息及び配当金の受取額	2,914	1,809
利息の支払額	—	△25
法人税等の支払額	△92,403	△3,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	△204,956	4,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	50,000	—
定期預金の預入による支出	△70,000	—
有形固定資産の取得による支出	△11,284	△7,761
無形固定資産の取得による支出	△42,226	△19,424
投資事業組合からの分配金による収入	—	42,040
差入保証金の差入による支出	△4,242	△473
差入保証金の回収による収入	—	7,623
貸付けによる支出	△30,000	—
保険積立金の積立による支出	△37,958	△41,548
保険解約による収入	—	21,697
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,712	2,153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2,411	△2,513
配当金の支払額	△101,682	△47,961
リース債務の返済による支出	—	△319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,093	△50,794
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36	△17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△454,798	△44,531
現金及び現金同等物の期首残高	1,679,823	1,109,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,225,025	1,064,688

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

当社グループは、車両再販業務支援、システム業務支援を融合した、不可分一体の事業として行っているため、事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社グループは、再販業務支援、システム業務支援を融合した、不可分一体の事業として行っているため、事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦以外の国又は、地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦以外の国又は、地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

当社グループの海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社グループは、海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。